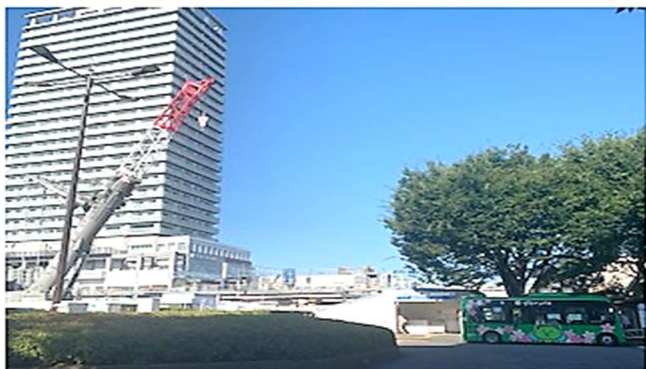


会員紹介

本町

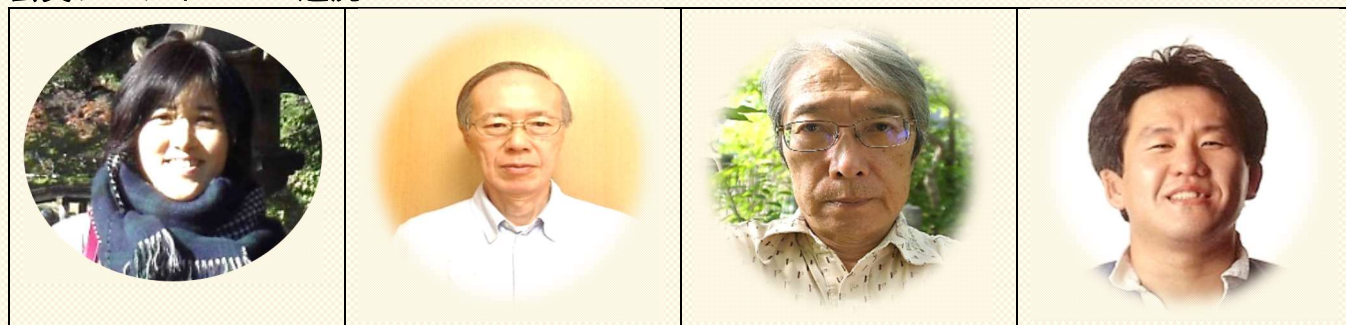
本町について

東村山駅の東南に広がる本町には、町名が示すように、市役所をはじめ中央公民館、市民センター、中央図書館、警察署など、豊かで安全な市民生活に欠かせない公共施設が集まっています。本町の北部を通る鎌倉古街道は中世の昔から、この地域が上毛、信州方面へ向かう交通の要所であったことを今に伝えています。新田義貞が鎌倉攻めの道としたことでも有名です。



東村山駅付近連続立体交差事業（高架化）は、2015 年 1 月に工事着手しました。東村山駅付近の約 4.5km について鉄道を高架化します。この事業により、5 ヲ所の踏切を除却し、交通渋滞の解消も狙います。同事業の完了は、2024 年度の見込みです。（左は 8 月初旬の駅東口の様子です）

会員プロフィール・近況



（左から）

高瀬 朋美さん（昭 6 2 文）学生時代はスキーに熱中のアウトドア派でしたが
現在は家事の合間に趣味の手芸と鎌倉彫を楽しむインドア派です。

当間 一則さん（昭 5 0 教）朝寝、MLB テレビ観戦、昼寝と令和の「小原庄助さん」の毎日。
少しは社会貢献をと、聖火リレーのボランティアになりました。

仲 滋さん（昭 5 3 文）近所であれば自転車で行かける今年 100 歳になる、
カメラと蓄音器コレクターの父と同居しております。

小野 浩一さん（昭 6 2 商）休日は専らウォーキング（自宅～中央公園～多摩湖～自宅）と
スポーツ観戦（ラグビー、プロ野球、大相撲等）です。

その他会員

河野 憲一さん（平 6 人科）

當麻 光子さん（昭 5 7 文）

会員紹介

美住町

美住町はこんな町

- ◆ 新青梅街道を野口橋から青梅方面に向い、右側(浄水場側)と左側(都営、U R 等の住宅)。
- ◆ 昭和 30 年代前半までは、一面が畑であり住宅はほとんどなかった。
- ◆ 改修された空堀川が流れている。改修前は、大雨が降ると空堀川が氾濫、道路が冠水し通行止め、マンションの駐車場地下部分が水没ということがあった。

美住町の仲間・近況

(写真左から)

町田 光高さん(昭和 47 年教育卒) :
事務局長、J R A 東京競馬場再開を心待ち(仲間と楽しんで競馬)。

田代 光一さん(昭和 38 年法卒) :
絶滅危惧種の日本の黒メダカを飼育中。飼育希望者にお分けします、電話(090-7404-4096)連絡を。

三宅 良太さん(昭和 36 年商卒) :
元稲門会会長、コロナ禍でも市の東村山郷土研究会で精力的に活動中。

鴨田 仁さん(昭和 45 年政経卒) :
2009 年清瀬から転居、ウォーキングの日々、雑学講座に興味あり。

尾島 敏雄さん(昭和 49 年商卒) :
最近、小金井市にある実家の管理で多忙を極めている。

樋地 正秀さん(昭和 36 年政経卒) :
体力維持すべく、市バドミントン連盟役員として活動中。

上町 弓子 (平成 6 年文卒) :
主婦、そして市議会議員として市民目線で積極的に活動。



背景の電車は'グリーンタウン美住'の中にある、電車図書館(「東村山 50 景」に選定されている)。昭和 42 年に電車(当初は赤い電車)を設置、現在も図書の貸出を行っている。

集合写真撮影後、コロナ感染に注意し、お互いの近況報告等を簡単に行いました。楽しいひと時でした。



小林 俊治さん
(昭和 53 年社会卒) :
撮影時、東京五輪のボランティアで忙しい生活。写真のシャツはボランティアグッズ。



澤村 信義さん
(昭和 48 年理工卒) :
現役社会人、元気に全国の製油所(プラント)を駆け回って仕事をしている。



田島 隆夫さん
(昭和 37 年法卒) :
『80 代となり、そろそろエンディングノートをもったが、TV とささやかな趣味が楽しくて書けない』



吉田 劭文さん
(昭和 41 年法卒) :
『設立 25 周年をコロナ渦中で迎えるのは誠に残念。心身ともに健全で 30 周年を迎えられるよう努めたい』

会員の皆様、夫々工夫をして、コロナ禍の生活を過ごしています。

(上町 弓子 記)